

区分	
出題意図	<p>問題 1</p> <p>表 1 および表 2 は、内閣府が令和 6 年に実施した全国調査「令和 6 年人々のつながりに関する基礎調査」の結果であり、孤独・孤立の実態把握を目的としたものである。表 1 および表 2 に用いた孤独感の指標は、「UCLA 孤独感尺度」日本語版の 3 項目短縮版により算出され、各項目について「決してない」を 1 点、「ほとんどない」を 2 点、「時々ある」を 3 点、「常にある」を 4 点としてスコア化しており、合計スコアが高いほど孤独感が高いと評価される。表 1 および表 2 は、この合計スコアを 4 区分に分類し、各区分における回答者の割合を示している。</p> <p>(1) 表 1 及び表 2 から読み取れることを 400 字以内で述べなさい。</p> <p>(2) (1) で読み取った内容から、どのような課題が考えられるか。また、その課題に対してどのような対応策が考えられるか。あなたの専門性について簡潔に説明した上で、600 字以内で述べなさい。</p> <p>問題 2</p> <p>次の文章(4 頁～7 頁)は、「真のダイバーシティをめざして 特権に無自覚なマジョリティのための社会的公正教育」(ダイアン・J・グッドマン著、出口真紀子監訳、田辺希久子訳、上智大学出版、2017 年、p. 5～8)の一部を抜粋・改変して掲載したものである。</p> <p>この文章を読んで、以下の設問(1)と(2)に答えよ。</p> <p>(この部分は著作権の都合上、公開できません)</p> <p>(1) 本文の下線部(ア)「多文化の問題を掘り下げること</p>

	<p>を 400 字以内で述べなさい。</p> <p>(2) 著者は、本文の下線部 (ウ) で「抑圧は社会 (特権集団) が個人をどう評価し、名づけるかによって起こるのであって、人々が自らのアイデンティティをどう定義するかによって起こるのではない。」と述べている。本文の論旨をふまえ、あなたが関わっているリハビリテーション実践における抑圧の具体例を挙げ、その抑圧をどう科学的に実証または解決し得るかについて、400 字以上 600 字以内でわかりやすく説明しなさい。</p>
	<p>論述試験では、専門科目としてリハビリテーションに関する課題に関する試験を行うこととなっている。</p> <p>問題 1 : 統計データの読解と社会的課題への対策</p> <p>本問題は、現代社会における喫緊の課題である「孤独」「孤立」をテーマとし、データの読み取り能力と、専門的知見に基づいた論理的思考力を問うものである。</p> <p>(1) 内閣府の調査結果のうち「仕事別孤独感」と「年齢階層別孤独感」という、性質の異なる 2 つの表を正確に照らし合わせる力を評価する。尺度により得点化された孤独感について、仕事別の傾向と、年齢階層別の傾向のデータから読み取ったうえで、要約する能力を判断する。</p> <p>(2) (1) で把握した実態に対し、リハビリテーション専門職としての視点から具体的な解決策を提示できるかを問う。身体機能の維持、社会参加の促進、あるいは地域包括ケアシステムの中での多職種連携など、自身の専門性を活かした「予防」「早期発見」「対策」の仕組みを論理的に構築できるかを判断する。</p> <p>問題 2 : 論説文の要約と概念の臨床的応用</p> <p>本問題は、ダイアン・J・グッドマン氏の論考を題材に、読解力と抽象的な概念を具体的なリハビリテーションの実践現場の課題として解釈する応用力を問うものである。</p> <p>(1) 下線部 (ア)「多文化の問題を掘り下げることに抵抗を感じる人々」と下線部 (イ)「一方の極からもう一方の極への動きを促していく」との論理構造を正確に捉えるとともに、筆者の主張を歪めることなく、リハビリテーション専門職としての視点から 400 字以内で論理的に再構成する記述力を判断する。</p>

	<p>(2) 本文中に示された「抑圧」という抽象度の高い概念を文脈に即して理解し、リハビリテーションの実践と結びつけて説明する力、及びその科学的な実証や解決について論理的に記述する力を判断する。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------